

VHF帯無線システム

基地局／固定局装置

VHF帯 (60MHz, 150MHz)

無線システムの基地局・固定局です。

電源部および無線機の二重化構成により
高い信頼性を発揮します。



機器仕様

一般事項

周波数範囲	下記の周波数範囲から指定の1波 54～74.8MHz 142～162.0375MHz	使用電源電圧	DC24V±10% または DC48V±10% (ご指定による)
		電源入力系統	2系統(現用/予備受電) または1系統受電(ご指定による)
通信方式	単信方式(プレストーク方式)	電源接地方式	陽極接地
送受信機の方式	現用/予備方式	使用温度範囲	-10～+50℃ また、-20～+60℃で過熱・破損が無く、 かつ-10～+50℃に復帰した場合、 性能を満足する
空中線インピーダンス	50Ω		
電波型式	F2D、F3E	耐湿性	+35℃で90%以下 また、35℃、相対湿度95%状態中に4時間放置後、 常温・常湿に復帰させた場合、性能を満足する
トーンスケルチ	ご指定のトーン1波実装可能		
使用定格	35℃で、送信1分、受信1分の繰り返しで 連続8時間動作させ異常が無いこと また、10分間連続送信させた場合でも 異常がないこと	外形寸法	2300(H)×260(W)×300(D)mm (突起物は除く)
		保守	前面保守

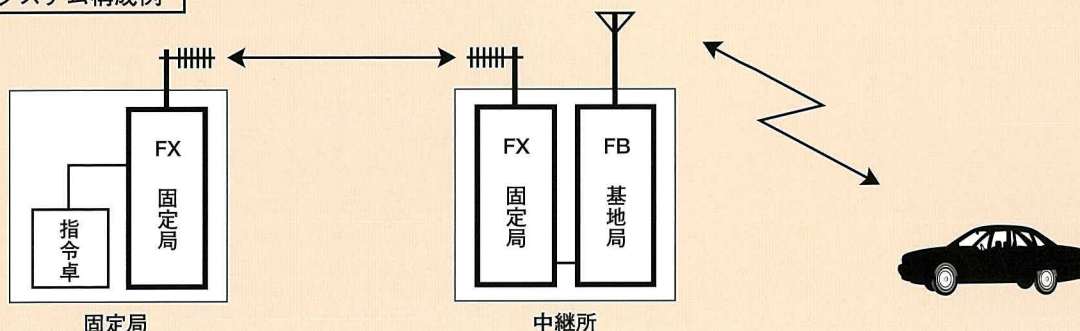
送信部

送信出力	5W、10W、25Wまたは50W (ご指定による) +20%～-50%以内
周波数偏差	±10×10 ⁻⁶ 以内
発振方式	水晶制御シンセサイザー方式
変調方式	可変リアクタンス位相変調方式
最大周波数偏移	±5.0kHz以下
標準変調入力	-10dBm±1dB以内 標準変調は、1kHzで70%変調
変調入力インピーダンス	600Ω
総合歪み及び雑音	標準変調で20dB以上
信号対雑音比	標準変調で40dB以上
スプリアス発射強度	無線設備規則(平成17年12月1日改正) のスプリアス基準に合致します
占有周波数帯幅	16kHz以内
トーン周波数偏移 (トーンスケルチ実装時)	0.5kHz±20%

受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
局部発振周波数偏差	±10×10 ⁻⁶ 以内
受信感度	6dBμV以下(20dB _{NQ})
通過帯域幅	6dB感度低下の帯域幅 12kHz以上
減衰量	70dB感度低下の帯域幅 25kHz以内
信号対雑音比	40dB以上(標準変調30dBμV入力時)
スプリアスレスポンス	80dB以上
感度抑圧	80dBμV以上(±20kHzの妨害波に対して)
相互変調	65dBμV以上 (同方向の20kHz、40kHzの妨害波に対して)
総合歪み及び雑音	20dB以上(標準変調20dBμV入力時)
スケルチ感度	10dB _{NQ} 感度以下で開き、40dBμV以上の 信号を抑圧しない
副次的に発する電波	4nW以下

システム構成例



(2013.10)

四国電力グループ
よんけい

四国計測工業株式会社
SHIKOKU INSTRUMENTATION CO., LTD.
<http://www.yonkei.co.jp>

■製造事業本部 電力事業部
〒765-0052 香川県善通寺市大麻町777
TEL (0877) 63-2500(代) FAX (0877) 63-3500



製造事業本部

無線局を開設するには、電波法令に従い、総務省総合通信局に申請し、免許を受ける必要があります。